

学年毎の目標の段階表【中学校 第1学年】

話すこと (I) → 『Spoken Interaction』 話すこと (P) → 『Spoken Production』
 読むこと (音) → 『音読』 読むこと (理) → 『内容理解』

コミュニケーションへの関心・意欲・態度		外国語理解・表現の能力				言語や文化についての知識・理解		
取組 () / 継続		話題	内容	方法	程度	言語知識	文化理解	実施時期・方法
聞く (I)	<ul style="list-style-type: none"> 新しい話題を提供しながら対話活動を行うように (積極的に) 聞き続けている (聞いている)。 相手の話で自分の言葉で感想を付け加えながら (積極的に) 聞き続けている (聞いている)。 相手の話で自分の言葉で感想を付け加えながら (積極的に) 聞き続けている (聞いている)。 相手の話について "Really?", "Me, too." 等、驚きや感想の言葉をつけ加えながら (積極的に) 聞き続けている (聞いている)。 間違えることを恐れず英語を (積極的に) 聞き続けている (聞いている)。 相手を見て、話し手に注意をはらって (積極的に) 聞き続けている (聞いている)。 笑顔等で話し手をリラックスさせながら (積極的に) 聞き続けている (聞いている)。 理解できないことを表情等で示しながら (積極的に) 聞き続けている (聞いている)。 うなずいたり、"OK" 等の表現を用いたりして、理解していることを示しながら (積極的に) 聞き続けている (聞いている)。 分からない単語等があっても、類推しながら (積極的に) 聞き続けている (聞いている)。 	自分自身や身近な生活、自分を巻きこむことについて	<ul style="list-style-type: none"> 事実や出来事、話し手の考えや気持ち、その理由等を 	<ul style="list-style-type: none"> 英語の音声の特徴をとらえ、大切な言葉や強勢のある言葉を手がかりにして より詳しく知りたいことについて問い返しをしたりしながら 分からないことについて質問して理解しながら より詳しく知りたいことについて質問して理解しながら 大切な言葉や強勢のある言葉を手掛かりにして 聞き取りにくかったときに自信のない言葉を上昇口調で繰り返し、相手に確認しながら 話の内容のポイントを繰り返すことで、理解していることを、伝えながら 大切な言葉や強勢のある言葉を手掛かりにして 聞き取れない時や理解できない時に "Pardon?", "One more time, please." 等で繰り返しを求めながら 	自然な口調で話されたり読まれたりする 4~5 文程度の英語を聞くことができる。	中学校第1学年で学習する言語材料について正しく理解している。	家庭、学校や社会における日常生活や風俗習慣など、「聞くこと」の言語活動に必要な文化背景について理解している。	<ul style="list-style-type: none"> 単元テスト 中間テスト、期末テスト パフォーマンステスト Lesson 1~3 (自己紹介、インタビュー) Lesson 5, 6 (人物紹介) Lesson 7 (プレゼンテーション)
話す (I)	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えや気持ち、具体例を述べるなど、話題を提供しながら (積極的に) 対話し続けている (対話している)。 質問を織り交ぜて聞き手を話題に巻き込むように (積極的に) 話している (話している)。 聞き手の表情を見るなど、話を理解しているか確認しながら (積極的に) 話している (話している)。 間違えることを恐れず英語を (積極的に) 聞き続けている (聞いている)。 相手を見て、話し手に注意をはらって (積極的に) 聞き続けている (聞いている)。 笑顔等で話し手をリラックスさせながら (積極的に) 聞き続けている (聞いている)。 "OK" 等の表現を用い、聞き手が理解しているか確認しながら (積極的に) 話している (話している)。 	自分自身や家庭、学校、自分を取り巻く社会について	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えや気持ち、その理由、身の回りの出来事や事実等を 	<ul style="list-style-type: none"> 具体例や詳細を示しながら 聞き手の立場や気持ち、場面や状況に応じて適切な表現を用いて 結論を先に述べて説明しながら 相手が理解しにくい時に、反対語や例を示したり、絵を描いたりして説明を加えながら 大切な部分に強勢を置いたり、大切な部分を繰り返したりして、伝えたいことを強調しながら 相手が理解しにくい時に、身振り、手振り等で説明を加えながら 英語特有の音やリズム、イントネーションで、発音しながら 聞き手に伝わる適切な音量と明確な音声で 	3~4 往復程度の正しい英語で話すことができる。	中学校第1学年で学習する言語材料について正しく理解している。 ・英語特有の音やリズム、イントネーションを理解している。	家庭、学校や社会における日常生活や風俗習慣など、「話すこと」の言語活動に必要な文化背景について理解している。	<ul style="list-style-type: none"> パフォーマンステスト Lesson 6 (人物紹介)
話す (P)	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えや気持ち、具体例を述べるなど、話題を提供しながら (積極的に) 対話し続けている (対話している)。 質問を織り交ぜて聞き手を話題に巻き込むように (積極的に) 話している (話している)。 聞き手の表情を見るなど、話を理解しているか確認しながら (積極的に) 話している (話している)。 間違えることを恐れず英語を (積極的に) 聞き続けている (聞いている)。 相手を見て、話し手に注意をはらって (積極的に) 聞き続けている (聞いている)。 笑顔等で話し手をリラックスさせながら (積極的に) 聞き続けている (聞いている)。 "OK" 等の表現を用い、聞き手が理解しているか確認しながら (積極的に) 話している (話している)。 	自分自身や家庭、学校、自分を取り巻く社会について	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えや気持ち、その理由、身の回りの出来事や事実等を 	<ul style="list-style-type: none"> 結論を先に述べて、具体例をあげたり、説明をしたりして 大切な部分に強勢を置いたり、大切な部分を繰り返したりして、伝えたいことを強調しながら 相手が理解しにくい時に、反対語や例を示したり、絵を描いたりして説明を加えながら 相手が理解しにくい時に、身振り、手振り等で説明を加えながら 絵や写真、具体物等を用いて分かりやすく 英語特有の音やリズム、イントネーションで、発音しながら 	30 語前後、5~6 文程度の正しい英語で話すことができる。	中学校第1学年で学習する言語材料について正しく理解している。 英語特有の音やリズム、イントネーションを理解している。	家庭、学校や社会における日常生活や風俗習慣など、「話すこと」の言語活動に必要な文化背景について理解している。	<ul style="list-style-type: none"> パフォーマンステスト Lesson 1~3 Let's Talk 1~9 (オリジナルスキット発表)
音読 (音)	<ul style="list-style-type: none"> 読み間違えたり、詰まったりしたときに (積極的に) 読み直して音読し続けている (音読している)。 間違えることを恐れず (積極的に) 音読し続けている (音読している)。 読み間違えたときに読み直して積極的に音読し続けている (音読している)。 	自分自身や家庭、学校、自分を取り巻く社会について	<ul style="list-style-type: none"> 書き手の考えや気持ち、その理由、事実、出来事等を 	<ul style="list-style-type: none"> 場面や登場人物の気持ちを表現しながら 語の長さやローマ字読み、アルファベットのもつ音に加え、発音と綴りの関係性を手がかりにしながら、声量や明確さに留意して 音声の 5 項目に留意して 文字の形や語の長さ、ローマ字読みやアルファベットのもつ音を手がかりにしなが、声量や明確さに留意して 語の基本的な強勢に留意して 現代の標準的な発音で 見本と見比べながら、声量や明確さに留意して 	100 語前後、20 文程度の英文を正しく音読することができる。	中学校第1学年で学習する言語材料について正しく理解している。 英語の音声の特徴 (5 項目) を理解している。 P 31~P 33 参照	家庭、学校や社会における日常生活や風俗習慣など、「読むこと」の言語活動に必要な文化背景について理解している。	<ul style="list-style-type: none"> パフォーマンステスト Lesson 7 USE Read Let's Read (Alice and Humpty Dumpty)
読 (理)	<ul style="list-style-type: none"> テーマやジャンル、英文の量にとらわれず、内容を理解しようと英文を読む活動に (積極的に) 取り組み続けている (取り組んでいる)。 繰り返し読んで、読み返したりして (積極的に) 読み続けている (読んでいる)。 より多くの英文を (積極的に) 読み続けている (読んでいる)。 分からない語句や表現がある場合には、辞書を活用して (積極的に) 読み続けている (読んでいる)。 分からない語がある場合には、ワークシートを活用して (積極的に) 読み続けている (読んでいる)。 内容を理解しようと (積極的に) 単語を読み続けている (読んでいる)。 読み方が分からない場合に、イラスト付き単語カードを手がかりにして (積極的に) 読み続けている (読んでいる)。 	自分自身や家庭、学校、自分を取り巻く社会について	<ul style="list-style-type: none"> 書き手の考えや気持ち、その理由、事実や出来事等を 	<ul style="list-style-type: none"> 接続詞や副詞、代名詞等を手掛かりに、5W1H に着目して キーワードやトピックセンテンス、サポーティングセンテンスをとらえながら 学習した単語の知識を活用して 文中にある大切な内容語を手がかりにして 	100 語前後、20 文程度の英文を正しく読み取ることができる。	中学校第1学年で学習する言語材料について正しく理解している。	家庭、学校や社会における日常生活や風俗習慣など、「読むこと」の言語活動に必要な文化背景について理解している。	<ul style="list-style-type: none"> 単元テスト 中間テスト、期末テスト パフォーマンステスト Lesson 4 Lesson 8 Lesson 9
書 (理)	<ul style="list-style-type: none"> 間違えることを恐れず、(積極的に) 文や文章を書き続けている (書いている)。 うまく書けないところがある場合には、(積極的に) 辞書を活用して書き続けている (書いている)。 間違えることを恐れず、(積極的に) 単語や文を書き続けている (書いている)。 間違えることを恐れず、アルファベットの大きな文字、小さな文字を (積極的に) 書き続けている (書こうとする)。 分からない文字がある場合には、見本を調べ、それを手がかりにして (積極的に) 書き続けている (書いている)。 見本を手がかりにして (積極的に) 書き続けている (書いている)。 	自分自身や家庭、学校、自分を取り巻く社会について	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えや気持ち、その理由、身の回りの出来事や事実等を 	<ul style="list-style-type: none"> 読み手や場、状況に応じた表現を用いて 文と文の順序や相互の関連に注意を払い、一貫性のあるぶんしょう 肯定文や疑問文、否定文を書く際の語順や語形の変化に留意して 主語と動詞を的確にとらえて 読み手が理解しやすいように単語と単語の間に適切な間隔を空けて 語や文における大文字、小文字を正しく使い分けて 文の内容に合わせて、符号を正しく用いて 読み手が理解しやすいように、文字と文字の間隔が整った、ひとまとまりの単語で 正しい文字の大きさや位置で 読み手が理解しやすいように丁寧に 形や 4 線を意識して 	20 語前後、4 文程度の英語を書き出すことができる。	中学校第1学年で学習する言語材料について正しく理解している。 語における大文字、小文字を正しく使い分けを理解している。	家庭、学校や社会における日常生活や風俗習慣など、「書くこと」の言語活動に必要な文化背景について理解している。	<ul style="list-style-type: none"> 単元テスト 中間テスト、期末テスト パフォーマンステスト Lesson 4 Lesson 8 Lesson 9